

# 採用について



## 募集職種

高等専門学校を卒業予定の方の採用は、「技能職(OP職)」と「基幹職」で募集します。詳細は、各製油所(千葉、四日市、堺)が公開する求人票をご確認ください。

### ●技能職(OP職)

製油所は石油製品を安定供給するために24時間365日稼働しており、生産する製品の規格を満たすように石油精製装置を常時監視と運転調整を行っています。この、石油精製装置の監視及び運転調整の役割を技能職(OP職)が担っています。

### ●基幹職

製油所での大規模な石油精製プロセス管理、装置の運転管理、運転改善(効率化・省エネ)検討、プラントのメンテナンス、データサイエンス領域他活躍フィールドは多岐に渡ります。  
※高専卒の募集はメンテナンスエンジニアのみ

## 採用スケジュール

4年生

春  
夏  
秋  
冬  
春

### インターンシップ

例年8月～9月頃にインターンシップの受け入れを行っています。5月、6月に詳細をご案内します。

### 各種説明会

各高等専が主催する業界研究、企業研究など業務内容を伝える説明会に、コスモ石油として参加する場合があります。

### 学校訪問

コスモ石油採用担当が各学校を訪問し、学科教職員の方と翌春の求人について情報交換をします。

### 職場見学

職場見学は随時受け入れています。求人への応募を必須とするものではありませんので、見学を希望される方は学校の就職担当教員の方にご相談ください。

5年生

### 求人票の公開 採用試験

3月、各学校に求人票を送付します。学校を通じてご応募ください。応募いただいた方から、随時採用試験と面接を行います。



## コスモ石油から 新卒採用にのぞむ高専生のみなさんへ

数多ある会社から当社の採用パンフレットをご覧いただきありがとうございます。

パンフレットをご覧の通り、当社では各分野で高専卒業生が活躍しています。

「ココロも満タンに」は、コスモに関わるすべての人の満足感と心豊かな毎日のために最善を尽くす姿勢を表した、コスモのメッセージスローガンです。

私たちは、コスモに興味を持って下さった学生のみなさまのココロも満タンにしたいと願っています。

想いを持って仕事ができること。

想いを仲間と共有できること。

想いを形にできること。

目には見えないけれど、コスモにとって最も大切な人のココロ。

コスモのあらゆる企業活動の裏側にある

「コスモのココロ」をお届けします。

女性・高専卒業生の活躍は  
「女性技能職 丸わかりBOOK」で紹介しています。

- 西川 奈那さん…2018年 熊本高等専門学校 生物化学システム工学科卒(P2-3)
- 竹本 祐貴さん…2010年 八代工業(現 熊本)高等専門学校 生物工学科卒(P5-6)

発行:コスモ石油株式会社

技能職(OP職)の  
詳しい紹介はQRを  
参照してください



コスモ石油 採用パンフレット

「高専卒業生 丸わかりBOOK」



# 宝モノ 知識は 学びの



「石油会社の製油所の現場って、大変じゃない？」  
「高専で勉強したことが、活用できる？」  
「“やりがい”って、感じられる？」etc.  
コスモ石油で働く現役社員が答えます！



## 製造現場のリーダーとなり 幅広い年代が集まるチームをまとめる

入社から15年以上ずっと製造に携わっています。重油を分解し、石油製品をつくる精製装置を安全に稼働させる「オペレーター」の仕事です。2つの業務があり、装置を目視したり、においを確認したりして異常がないか製油所内をパトロールするフィールド業務と、計器室内で装置を監視し運転を調整するボード業務です。多種多様な装置があり、点検箇所も異なるので、日々勉強が欠かせません。装置に不具合があるのを見つけた場合は、これが原因だろうという自分なりの仮説を立てた上で、改善に向けて動きます。それがイメージ通りにうまくいったときはほんとに安心し、やりがいを感じます。

24時間装置を稼働させるための、交替勤務<sup>(※1)</sup>は「4直2交替制」で行いますが、2022年に、製造3課の4つに分かれている直(チーム)のリーダーである直長になりました。チームは10代の若手から50代のベテランまで8名ほど。メンバーの年代も幅広く、まとめるのは大変です。そんなとき、高専時代の部活で身についた先輩や後輩との接し方が役立っているのを感じます。様々な研修があり、勉強嫌いで就職したのに入社してからのほうが勉強しているのでは(笑)。いまは直長業務に必要なスキルを身につけ、しっかりと務められるようになりたいと思っています。



### 印象深いできごと

**製**油所では4年に1回、「大整備」が行われます。装置を一斉に止め、内部を空にして清掃、点検、修繕などを行う一大イベントです。装置を停止させることをシャットダウン、再稼働させることをスタートアップといい、これができるこそ一人前。複雑な作業なので、頭の中で整理して進めなければなりません。手順書は当然ありますが、経験値も必要になります。ボード業務の担当として、すべての装置を無事にスタートアップできた時は、やりきったという大きな達成感を味わえます。

### コスモ石油に入ってよかったこと

**就**職活動の時は、福島より都会に行きたい気持ちと、社名を知っているという単純な動機でコスモ石油に応募しました。入社してみると、千葉は便利だけれどゴチャゴチャしてなくて暮らすにはちょうどいいところ。社員寮も会社の補助によって1万円台で住めますし、当時は結婚して寮を出てからも住宅手当<sup>(※2)</sup>が支給されていたので、とても助かりました。そして、何よりの魅力は給与水準が高いこと。自分が頑張った分をしっかりと評価してもらえて、それに合った報酬を期待できます。

※2 住宅手当は2021年に廃止となり、基本給へ組み込まれるよう改定されました

千葉製油所

製造3課 分解係

### 下地 薫さん Kaoru Shimoji

福島工業高等専門学校 電気工学科卒  
2008年入社/福島県出身

入社以来、製造3課でオペレーターとして働く。2022年より、交替勤務の直長(リーダー)に。高専時代は部活のテニスに打ち込んでいたが、今は子どもとキャッチボールや野球の練習に付き合うことが気分転換になっている。休みの日は趣味のゴルフに行くのが楽しみ。「社会人になっても学び続けられる、向上心のある人にふさわしい会社です」(下地さん)

※1 交替勤務のサイクルや内容は、別冊「会社説明パンフレット」で紹介しています



## 現場で働きたいという希望を叶え 製油所の“医師”として安全を守る

父が建築現場で働いていて、汚れた作業着にヘルメットを持って帰ってくる姿にずっと憧れがありました。私自身も小学生の頃から自転車のパンク修理をしたり、機械いじりが好きだったので、高専の機械工学科に進み、“現場”で働きたいという希望から、千葉製油所に就職しました。

いま所属している設備検査課では、入出荷設備の保全を担当しています。若手社員に対しては「現場の医療部隊」と言い換えて、説明しています。患者を検査して、処方箋を出す医師のような役割です。設備を点検して、どういう補修が必要か、余寿命はどのくらいあるのかななどを判断し、補修計画を立案します。補修は設備を一時的に止めて行いますが、原油の輸入や製品の出荷を止めたり、工場の生産を停止したりするわけにはいきません。影響をできるだけ抑えながら、生産計画や出荷を管理する生産管理課などと連携し、補修のタイミングを調整するのは難しいですが、やりがいがあります。

補修計画とは別で、設備にトラブルがあればすぐ調査に向かいます。配管の間や地面に這いつくばり調べることも多く泥まみれになることもありますね。でもこれが憧れていた姿。作業着を汚しながら、製油所の安全を守りたいと思います。



### 印象深いできごと

**入**社5年目の頃、配管からガスが漏れるという事象が起こりました。錆びないはずのステンレス製の配管なのに……と、現場に向いて調査したところ、近くに水が流れているのを発見。水はステンレスが苦手とする塩素を含んでおり、水しぶきが配管に当たり腐食したのが原因でした。想定していない不具合でも、現場を調べて周囲の状況や些細な変化から推理し原因を突き止め、問題を解決できたことがすごく嬉しくて。まるで探偵みたいで面白い仕事だなと強く感じたできごとです。

### 高専での学びが生きること

**業**務中や、資格取得のための勉強をしていると、高専時代に学んだ気がするなあという単語に出会うことが度々あります。たとえば、配管の強度計算の式は思い返せば材料力学の教科書に載っていました。なんとなくでも触れたことがある分野だと理解もスムーズに進みます。また、私は機械工学科出身ですが、作図の授業を通して図面記号の知識があったので、業務で補修図面を読むときに役立っています。ほかにも化学や電子制御など、高専で学んだ知識を生かせる場面が数多くあります。

千葉製油所

設備検査課

野尻 真之介さん Shinnosuke Nojiri

木更津工業高等専門学校 機械工学科卒  
2013年入社/千葉県出身

入社後、オペレーターとして各種装置の運転業務に従事。2014年から現職。「設備検査課で、不具合の原因をとことん突き詰めて調べる仕事は性に合っていると思います。1人で担当する設備が多く個人の裁量も大きいのですが、困ったことがあれば助けあえる職場の雰囲気です」(野尻さん)。休日は子どもと遊んだり、音楽フェスに出かけたりして楽しく過ごしている。



## 工業化学が好きだった高専生が 製油所全体を把握し、生産を取り仕切る仕事へ

高専時代に一番好きだった科目が「工業化学」の石油分野で、好きなことを職業にすれば毎日が楽しいだろうと考え、石油業界を志望しました。入社を決め手になったのは、千葉製油所でのインターンシップに参加したこと。働きやすそうな、人がいい、社風のいい会社だなと思いました。

入社して最初は製造3課で触媒の検討などを担当し、3年目に生産管理課に異動しました。当初は、生産計画の立案などデスクワーク中心の業務に戸惑いましたが、製油所全体を把握し、全社に影響するスケールの大きな仕事に、どんどん楽しさを感じるようになりました。

現在は、税の申告や出荷用の船の手配に携わっています。税に関する業務では、ガソリンにかかる揮発油税や輸出入の税関の届け出など各種書類を作成します。官庁が相手なので、ミスをする则ち会社の信用にも大きな影響を及ぼしますし、何百億円を扱う責任感の求められる仕事です。数字に間違いがないかなど書類を細かくチェックするのは大変ですが、先輩がフォローしてくれ1人に背負いこませない体制ができていたので安心です。責任が重い分、仕事を完遂したときの手応えを強く実感しています。



### 印象深いできごと

**私**が担当する税の申告は、出荷した実績数値に基づいて行うのですが、その大切な出荷量がわからなくなるシステムエラーが発生したことがありました。エラーの解消を待っている間は申告期限に間に合わず、期限を超過すると多額の延滞金がかかってしまいます。私はシステムがどのように出荷量を算出しているか把握していたので、いろいろな数字を集めて、なんとか手作業で出荷量を割り出しました。その後システムが復旧し、数字に間違いはないことがわかり、大きな達成感を味わいました。

### コスモ石油の魅力

**社**風、一言でいえば、それが魅力です。人の温かさが伝わってきたインターンのときから現在まで、その認識は変わりません。自分の選択は間違っていなかったなと思います。コミュニケーションの取りやすい職場で、休日は先輩とゴルフを楽しんだりしています。新入社員の頃は、学生と社会人とのギャップで、大変に感じることもありましたが、周りの先輩が必ずフォローしてくれました。そのありがたみを知っている私自身も、後輩が気軽にどんなことでも相談できる雰囲気づくりを心がけています。

千葉製油所

生産管理課

川瀬 悠哉さん Yuya Kawase

函館工業高等専門学校 物質工学科卒

2017年入社/北海道出身

入社後、製造3課に配属、装置運転管理に従事。2019年、生産管理課に異動。2年間装置稼働計画に携わる。2021年より入出荷管理、税務申告を担当。最近の趣味はゴルフ、サウナ、カラオケ。千葉県はゴルフ場が豊富で、休日は同僚とコースを回ることが多いそう。「関東に就職した高専時代の友達も多いので、休日と一緒に出かけられることもありますよ」（川瀬さん）



# 高専出身の私たちが コスモ石油で働く理由

高専からコスモ石油に入社した3人が、就職活動時のこと、入社してからの印象、専門性の生かし方など、高専生が気になる話題を熱くトークします！

## —高専時代の就職活動では、どういった業界を目指していましたか？

**萩原** 私はずっとエネルギー業界に興味がありました。エネルギーは人々の生活になくてはならないものなので影響力も大きく、仕事のやりがいを感じられるだろうと、石油や電力の業界を志望していました。

**後村** 私も早い段階から、インフラやエネルギー業界に絞っていました。父がインフラ系の会社に勤めていて、使命感を持って働いている姿を見ていたので、同じような業界に進みたいと思ったからです。

**牧野** 私の場合は、高専4年生の夏に、他社ですが石油会社のインターンシップに参加したことがきっかけです。

千葉製油所 生産管理課  
**萩原 義樹さん**  
Yoshiki Hagiwara

都城工業高等専門学校  
物質工学科卒

2010年に千葉製油所入社。  
製造1課で経験を積んだ後、  
2023年、自らの希望で生産管理課に異動。

社内の雰囲気が和やかで、  
人間関係に悩むことがないです



インターンを経験したことでこれまで漠然としていた仕事選びに対する考えがまとまって、石油業界を目指すようになりました。

**萩原** 夏のインターンは私も経験しましたね。

**後村** 私もプラント系の会社のインターンに参加しました。関心のある業界の実務を間近でみるのができ刺激になりましたし、就活に役立ったと思います。

## —みなさん、エネルギー業界が志望だったのですが、コスモ石油に入社した決め手はありますか？

**牧野** 私は高専時代にバイク通学をしていたので、ガソリンスタンドをよく利用していました。コスモ石油ではサービスステーション(SS)と呼びますね。そういう日常生活の中で身近にあるところ、知名度の高さは入社決め手になったと感じています。

**萩原** 私も、「ココロも満タンに」のテレビCMや、身近なSSを通してコスモ石油のことを知ってはいました。しかし、製油所の仕事に関しては、高専に届いた求人を見て初めて知って。くわしく調べてみると、持続可能な社会の実現に向けて、次世代の新しいエネルギーの開発にも積極的に取り組んでいる会社で、今後石油製品への需要が縮小していくとしても、将来性に期待できるなと感じました。また正直なところ、他の業界に比べて石油業界は給与レベルが高いのも魅力でした。

**牧野** そうですね。給与など待遇面が充実していますし、従業員数が多いので、それ

だけ多くの人を雇える器の大きい会社だというイメージを持ちました。コスモ石油だけで約1700名、グループ全体でも約7000名が働いていますから。

**後村** 私も給与や福利厚生の手厚さを重視していました。また、石油元売りの国内大手三社の中で、規模が大きすぎないところも決め手でした。社員同士のつながりが感じられ、個人の裁量が大きそうなところも働きやすそうで、自分の性に合っているかなと思いました。

## —実際に入社してみて、意外に感じたことはありますか？

**萩原** 想像していたより社内の雰囲気が和やかでした。人間関係に悩むようなことが全くなかったです。

**後村** やっぱり人間関係は大きいですね。危険と隣り合わせの作業もあるので、もっと緊張感のある部署だと思っていました。もちろん現場で作業をするときはしっかりと集中しますが、それ以外の部分では部署全体が和やかな雰囲気なのが意外でした。

千葉製油所 品質管理課  
**牧野 尚也さん**  
Naoya Makino

福島工業高等専門学校  
物質工学科卒

2010年に千葉製油所入社。  
製造3課配属となり、安全環境課、  
OMS事務局を経て、2022年より現職。

インターンに参加して  
石油業界志望に  
なりました！

**牧野** 怖い先輩もいるだろうと覚悟していたのですが、やさしい方ばかりで助かりました。私は走るのが好きなので、上司や先輩と練習したり、一緒にマラソン大会に出場したりもしています。

**後村** 同期とのつながりも強いですよ。私は就職で上京したので、入社後は会社がマンションを借り上げた独身寮に入りましたが、同期も同じところに住んでいるので、初めての一人暮らしでも安心感がありましたね。

**牧野** 独身寮は格安ですし、製油所から近いので就職で上京したほとんどの新入社員が入るんじゃないでしょうか。萩原さんと同期ですが、1年目の頃はボウリングやサッカー、飲み会もたくさんで、遊びまわりました(笑)。

**萩原** 1年目は製造に配属されても夜勤がなく昼勤務中心なので、休日も合わせやすく、よく一緒に遊びましたね。

## コスモ石油に入ってよかった3つのこと

その1

人がいい

親しみやすい人が多く、  
チームで支え合う風土です。

その2

待遇がいい

福利厚生も  
充実しています。

その3

キャリア形成が多様

教育プログラム、研修も  
豊富です。

千葉製油所 動力課 動力係

後村 玄斗さん  
Gento Ushiomura

熊本高等専門学校  
機械電気工学科卒

2014年に千葉製油所入社。  
以来、製造現場で装置の運転業務に従事。  
交替勤務で働く。

働きはじめてからの方が  
ちゃんと勉強している  
気がします

—現在、どんな仕事をしていますか？

**萩原** 生産管理課では収益が最大となるように稼働装置、製品生産を検討し、計画を立案します。計画外の事象が発生した際には、生産への影響を最小限に留めるリカバリー策を実行して、調整を行います。

**牧野** 品質管理課では主に、品質基準の管理・検査・各製品の品質保証を行っています。自社製品の品質やブランド力を守っているという誇りが持てる仕事です。

**後村** 動力課は各種製造装置へ電気や水などのユーティリティを供給することが使命の部署です。交替勤務で、装置のパトロールのほか、計器室(制御センター)で運転の状態を確認して現場に指示を出すボード業務に携わっています。

—業務に高専での学びやマインドが生きていることはありますか？

**萩原** 私は正直、高専時代にしっかり勉強してなくて……(苦笑)。ただ、高専時代から寮で共同生活をしていたので、そこでの仲間との経験が組織の一員として働く上で不可欠なコミュニケーション能力に生かされていると感じています。

**牧野** 物質工学科出身で実験のレポートを書く機会が多かったので、書いたり、考えたりする経験が報告書やメー

ルの作成などにも生きていていると思います。

**後村** 所属する動力課でさらに活躍するには電気主任技術者などの資格取得が必要になるので、その勉強に役立っている面はあります。自分で調べて情報をつかむことも高専時代から慣れていたので、あまり苦にせず進められます。

—入社してからも、資格取得のためなど勉強することが多いんですね。

**後村** そうですね。二級ボイラー技士、危険物取扱者乙種4類、高圧ガス製造保安責任者の資格は必須です。その他にも簡単なものから難しいものまで、取得しなければならないものは結構あります。ただ受験費用は会社が負担してくれますし、試験勉強に対する周囲の理解もあるので、安心して取り組みます。夜勤の休憩時間を活用して勉強したりもしていますね。

**牧野** 私は入社してから危険物取扱者甲種の資格を取っていますが、高専時代に危険物取扱者乙種4類を取っていたので、すんなりと取得できました。もちろん資格試験の勉強だけでは十分ではなく、業務で扱う様々な装置に関する知識を学び、身につけていく必要があります。

**後村** 配属された当初は分からないことだらけで、仕事を早く覚えようと装置の仕組みなどを家で復習することもありました。社会人になってからの方が毎日、勉強している感じがします。

—萩原さんと牧野さんは異動を経験していますが、戸惑いはありませんでしたか？

**萩原** 私は自分から異動を希望しました。製造現場でオペレーターを続ける選択肢もあったのですが、大卒社員も多い部署で自分の力をどこまで発揮できるのか、視野を広げて違う分野に挑戦してみたいと思ったからです。やりたいことがあれば、後押ししてくれる会社の雰囲気もあり、キャリア形成は多様です。今の仕事はとても楽しいですよ。装置を運転させる製造現場のこういったところが危険なのかを把握しているので、リスクと収益のバランスを見極めた上で計画を作ることができます。

**牧野** 私も製造3課の頃の問題点を理解しているので、品質管理課で製油所全体に関わる運用や改善が風通しよくできるのだと思います。入社した当初は想像していなかったような業務に携わり、分かっているつもりだった情報が今、補完できています。全体をより良い方向に向かわせる、やりがいのある仕事だと実感しています。

—高専生が最初に配属されるのは製造現場のオペレーター職が多いと思いますが、その後は幅広いキャリア選択が可能なんですね。

**後村** 2人とは逆に、私のようにオペレーターとして交替勤務を続けることもできますし、さらに現場をまとめるリーダーである直長から係長、課長へとキャリアアップも目指せます。同じ製造でも、工事調整などの事務作業に携わることも可能です。

**萩原** オペレーターとして、しっかりと技術を身につけておけば、異動によって違った環境に自分を置き、新たな



表紙：左から後村さん、牧野さん、萩原さん

キャリアを作っていくという道もあります。

**牧野** まずは、配属された各装置の機器の原理を学んで把握することです。実務経験を積み、製油所の様々な仕事を知っていくことで、希望する部署がでてくるかもしれません。海外の原油開発分野で活躍する道もあります。教育プログラムも確立されていますし、研修も豊富です。働きながら自分に合った業務が見つかると思います。

就職活動中のみなさんへ



萩原さん

今は就職活動で大変だと思いますが、残りの学生生活を有意義に過ごせることを祈っています。千葉製油所で働くことになった際には気軽に声をかけてください！



牧野さん

高専の仲間を大切に、今の生活にも遊びにも全力で取り組んでください。入社当初は不安もあると思いますが、気兼ねなく周りの人に頼ってください。私も相談に乗ります！



後村さん

交替勤務は大変なイメージかもしれませんが、リズムができれば大丈夫！平日休みは、混雑をさけて出かけられ休日を満喫できます。今、好きなことを会社に入ってから継続して楽しめますよ。